

平成27年度当初(骨格)予算編成過程に寄せられた  
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
1	被災した際の避難生活を過ごす施設として、使用されなくなった公共施設を活用するなど、避難所の確保を進めて欲しい。	既存施設を活用した指定避難所の整備等を行う市町村の支援を行っていきます。	南海地震防災課
2	山間部等で、孤立化した際の通信手段を確保して欲しい。	孤立化予想地域の通信手段の確保を目的として、衛星携帯電話やアマチュア無線機等を整備する市町村の支援を行っていきます。	南海地震防災課
3	災害発生時の避難所において、要配慮者への対応をはじめ様々な課題がある中で、良好な避難所生活を確保するために、専門的な知識を持った人材育成を行うべきではないか。	地域住民の方々が共に助け合いながら、避難所を主体的に運営することができるノウハウを身につけた避難所運営リーダーの養成に取り組みます。	防災人材育成センター
4	徳島の魅力をPRするイベントを実施して欲しい。	徳島県と兵庫県を結ぶ「大鳴門橋」が、平成27年6月に開通30周年を迎えることを契機に、両県の交流の促進や、本県への観光誘客につなげるため、開通30周年記念事業を実施します。	広域行政課
		関西圏・中部圏における徳島ファンの拡大及び本県への観光誘客促進を図るため、高速道路SA・PA等で徳島県の「食」「観光」「文化」「癒し」をPRします。	大阪本部
5	近畿で開催している「阿波おどり教室」をもっと広げて欲しい。	新たに若者を対象とした阿波おどり教室を開催し、阿波おどりの普及振興を図るとともに本県の魅力をPRし、観光誘客を促進します。	大阪本部
6	学生や教員にもっと地域と交流してもらい、地域を活性化して欲しい。	県が地域の課題と大学の有する資源のマッチングを行い、地域の活性化や地域の産業を担う人材の育成を支援します。	県立総合大学校本部
7	県の広報番組に、手話と字幕を設置すべきと考える。	既に実施しておりますテレビ広報番組の「週刊あわのかわらばん」や「知事対談・特別番組」への手話導入に加え、その他広報番組への手話・字幕の導入につきましても、「障がい種別の特性」に応じた、誰もがわかりやすい情報提供を目指し、検討を進めて参ります。	秘書課
8	地方公共団体情報システム機構が主催する「地方自治情報化推進フェア」に参加できるように協力してほしい。(機構のサービス利用者しか参加できない。)	県が代表して申し込むことにより、県内企業が参加できるよう努めます。	情報システム課

平成27年度当初(骨格)予算編成過程に寄せられた  
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
9	定年退職した人の内、元気で、働く意欲があり、子どもが好き、子どもにかかわる仕事をしたい人を採用し、保育士の補助者として給料を支払うとともに、必ず事前講習を受け、実習も実施する必要がある。	教育・保育等に従事する者の確保及び資質向上に向けて、新たに、育児経験豊かな地域の人材を主な対象として子育て支援分野に従事するために必要な研修を提供し、研修を修了した者を「子育て支援員」として認定することとしており、平成27年度当初予算では、新規事業「保育人材確保等推進事業」に必要経費を計上しております。	こども未来・青少年課
10	鳥獣被害対策について、特に鹿に重点を置いた政策を、もっと予算を確保して実施して欲しい。	県では現在、ニホンジカの捕獲活動の支援や防護柵の設置、シカ肉を地域資源として活用するための実証実験等を実施しております。 今後も関係機関と連携し、捕獲の強化と利活用の両面からニホンジカ対策を推進して参ります。	自然環境戦略課
11	徳島県が「2019年ラグビーワールドカップ」、「2020年東京オリンピック・パラリンピック」、「2021年関西ワールドマスターズゲームズ」の開催を機会に、世界に向けての情報発信を期待します。	日本で開催される3大国際スポーツ大会の「キャンプ地」及び「開催会場」の誘致のため、県内の受入環境等の調査を実施します。 併せて、海外競技団体等への直接的な誘致活動を展開するため、積極的な情報発信を行うとともに、スポーツ交流事業等を実施し、「徳島の素晴らしさ」を発信して参ります。	県民スポーツ課
12	南海トラフの巨大地震により、避難所生活が長期化したときでも安心して生活が送れるよう、保健医療や福祉の支援体制を充実してほしい。	平成23年度に設置した保健・医療・福祉分野の災害時コーディネーターの養成を強化し、情報の共有体制の構築を図ります。また、病院・福祉施設や避難所運営者等の関係者と協働した実践的な訓練を実施し、県民全体の災害対応能力の向上を図ります。	保健福祉政策課
13	小児救急電話相談事業(＃8000)があり、夜中に子どもが病気になった時に相談にのってくれる心強い制度であるが、知らない人も結構いるので、広報の取組みをお願いしたい。	＃8000については、子育て支援雑誌への掲載、パンフレット、啓発グッズ等の配布を行うほか、徳島県ホームページに情報を掲載しています。 引き続き、県民の方々が安心して子育てができる環境となるよう、＃8000や子育て支援情報の周知に取り組みます。	医療政策課
14	若者のひきこもりは、家族の孤立化やひきこもりの長期化がみられ、改善が困難な状況である。県としても、支援に取り組むべきではないか。	地域に潜在するひきこもりを早期に発見し、適切な支援機関につなぐことで、ひきこもりからの早期の脱却を目指すことを目的に「ひきこもりサポーター養成研修」の実施を予定しています。	健康増進課
15	危険ドラッグ問題について迅速な情報探知を図るための医療関係者の通報体制の構築及びインターネット販売を阻止するための取組みを行ってほしい。	県民の危険ドラッグに関する情報提供に係る努力義務や人の健康に危害が生じるおそれがあるものを危険薬物として身体に使用する行為を禁止するなどの改正規定を盛り込んだ「徳島県薬物の濫用の防止に関する条例」の確実な執行を行って参ります。	薬務課
16	在宅で認知症介護をしているが、同じ立場の人と相談できる場がほしい。	認知症の家族の方が、同じ悩みを持つ方や地域住民と話したり、法律・医療・福祉の専門家と相談できる「認知症カフェ」を開催し、家族支援を図って参ります。	長寿保険課

平成27年度当初(骨格)予算編成過程に寄せられた  
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
17	シルバー大学校において、卒業コース以外であれば再度応募できることになったが、卒業生はなかなか入学できない。	シルバー大学校を卒業した方の他コースへの再応募を可能としたことにより、応募頂く方が増えてきています。このことを受け、定員の中に再入学枠を設けることでどのコースにも卒業生が入学できるようにします。	長寿保険課
18	県西部における発達障がい児・者に対する総合的な支援の拠点となる施設を整備して欲しい。	県西部における発達障がい児・者に対する支援を強化するため、「発達障がい者総合支援センター・アイリス」を平成27年5月に開設し、「池田支援学校・美馬分校」、「西部テクノスクール」等と連携し、早期支援や就労支援など総合的支援に取り組みます。	発達障がい者総合支援センター
19	業況が改善していないにも関わらず、セーフティネット保証の指定業種が減少し、借入金の返済負担が増加している。	県制度融資において、通常は同一制度間のみにおいて認められている借換について、「セーフティネット資金」からの借換を可能とする新たな「借換枠」を創設し、中小企業者の金利・保証料負担の軽減を行います。	企業支援課
20	LED関連産業における新用途開発を支援するため、県内企業と大学との連携を促進する制度を創設して欲しい。	産学連携による共同研究開発を支援する制度を新たに創設し、県内企業によるLEDの新用途開発の加速化に取り組みます。	新産業戦略課 工業技術センター
21	県内のファミリー・サポート・センターで、病気時や病後回復期の子どもも預かって欲しい。	各ファミリー・サポート・センターにおける病児・病後児預かりのしくみづくりを支援することにより、ファミリー・サポート・センターでの病児・病後児預かりの導入を進めて参ります。	労働雇用課
22	テクノスクールでの職業体験をもっと充実して欲しい。	これまでのテクノスクール内における木工、塗装及び理美容などの「職業体験」に加え、「学校や公共の施設」の修繕作業を実際に行っていただく「現場体験」など、工夫を加えた取組みを進めて参ります。	産業人材育成センター
23	徳島が世界に誇る阿波おどりをもちと観光誘客に活用して欲しい。	春に実施する阿波おどりイベント「はな・はる・フェスタ」において、イベント内容の充実を図るとともに、阿波おどりの練習風景も観光資源としてPRするなど、本県最大の観光資源の一つである阿波おどりをフル活用して参ります。	観光政策課
24	海外での留学経験や外国語の得意な大学生に、地元企業に就職して欲しい。	「徳島県地域グローバル人材育成事業」を創設し、国際的な志向と地域貢献の思いを持った大学生に留学や海外インターンシップ等を体験させ、地域や県内企業に貢献してもらえよう育成支援していきます。	国際戦略課 グローバル戦略室
25	とくしまマラソンについて、2万人大会にして大丈夫なのか一度検討するべき。	2万人大会開催に向け、安全面や競技運営などに発生する課題について調査、検討を行います。	にぎわいづくり課

平成27年度当初(骨格)予算編成過程に寄せられた  
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
26	県民に愛されている「すだちくん」を積極的に活用して、全国に向けて徳島の魅力をアピールしてほしい。	「すだちくん」への共感性が高い若者や女性層をターゲットに、「すだちくん」を活用した戦略的かつ効果的な徳島の魅力発信を行うため、県内外のイベントやメディア等に出演し、クオリティの高いパフォーマンスを実施してまいります。	もうかるブランド推進課
27	河川・海岸施設の地震・津波対策を推進してほしい。	地震・津波による被害軽減のため、県管理河川・海岸施設については、地震・津波対策工事に要する予算を確保しています。 また、国が実施する河川・海岸の地震・津波対策工事についても、予算の重点配分が行われています。	水産課 河川振興課 運輸政策課
28	地籍調査事業について、引き続き積極的な予算の確保をしてほしい。	平成27年度予算は、平成26年度に引き続き、取組強化前である平成20年度の3倍を超える10億円の予算を確保し、「防災・減災関連の重点エリア」における地籍調査を積極的に推進します。	農村振興課
29	洪水被害を防ぐため、堆積土砂の除去や立木伐採など、適切な維持管理を行ってほしい。	治水上支障と認められた箇所について、緊急性や事業効果を総合的に勘案し、適切な対応を実施しています。	河川振興課
30	台風等の豪雨による浸水被害を解消するため、河川の改修を推進してほしい。	浸水痕跡の調査や河川の水位・流量などの検証結果を踏まえ、再度災害を防止するための河川改修を推進します。	河川振興課
31	大学生等の若い視点で、地域活性化策を提案して欲しい。	県内大学間の連携だけでなく、県外大学によるフィールドワーク等により、地域活性化及び交流人口の拡大を図ります。	南部総合県民局
32	新規就農者に対して、記帳の指導や基礎的な農業の指導をして欲しい。	農業基礎講座を開催し、新規就農者の基礎技術や経営知識の習得を図ります。	南部総合県民局
33	水産物のブランド化については、各漁協での規格や流通先をそろえることが必要と思うので、そのあたりをお願いしたい。	海部郡の美味しい魚を規格統一して、「海部の魚」として認定し、認知度を高めるなどブランド化を推進します。	南部総合県民局
34	県西部への外国人観光客のさらなる誘客を進めて欲しい。	海外や首都圏での営業活動や情報発信など、関係機関と一致協力して、外国人観光客の誘致に取り組めます。	西部総合県民局

平成27年度当初(骨格)予算編成過程に寄せられた  
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
35	平成26年12月の大雪被害を教訓に、災害による集落の孤立化対策を進めて欲しい。	雪害や深層崩壊等により孤立化の可能性のある集落に対して、県西部の市町や関係機関と連携のうえ、孤立化に備えた実践的な訓練や普及啓発等に取り組みます。	西部総合県民局
36	自殺ハイリスク者に対する支援ネットワークを構築して、早期対応や重層的な支援をして欲しい。	自殺ハイリスク者の支援ネットワークの充実に向けて、「自殺ハイリスク者支援会議」を開催するとともに、自殺ハイリスク者やその家族を対象として、関係機関と連携した個別訪問や家族教室などを実施し、きめ細やかな支援を行います。	西部総合県民局
37	サテライトオフィスでの勤務に対応して、子供も徳島と東京間で学校の転校をやすくして欲しい。	複数回の転校が一度の承認でできるように、教育委員会間の調整や手続の簡素化に取り組みます。	教育戦略課
38	徳島県の高校生の競技力向上を図るために、現在のスポーツ指定校制度のあり方について検討して欲しい。	本県高校スポーツの競技力向上と普及・振興を図るため、強化推進校・競技普及校・地域活性化校の3つのカテゴリーに分けて指定し、それぞれの特徴に応じた活動を支援します。	体育学校安全課
39	学校での防災教育への期待が増している中で、防災教育の充実と地域防災の担い手を育成して欲しい。	地域防災の担い手となる人材の育成と実践力の向上を図るため、すべての県立高校で「防災クラブ」を立ち上げるとともに、防災ボランティアとして必要な知識・技能を身につけた生徒を育成します。	体育学校安全課